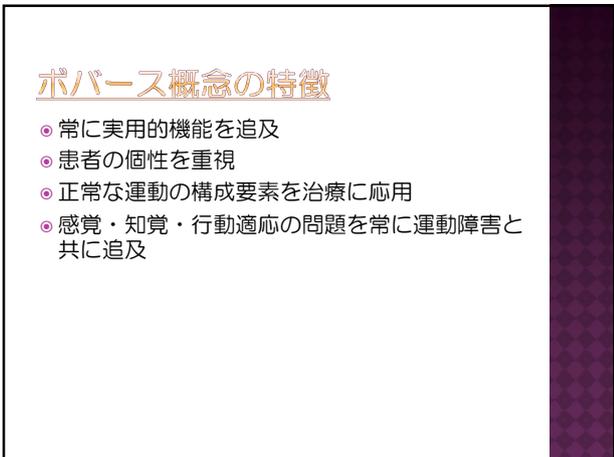


ボバース概念の捉え方

- 患者様より学ぶ（症例検討）
- ボバース法（テクニック）ではなく概念である
- 全人的アプローチ
- チームアプローチ
- 問題解決志向
- 仮説証明作業



ボバース概念の特徴

- 常に実用的機能を追及
- 患者の個性を重視
- 正常な運動の構成要素を治療に応用
- 感覚・知覚・行動適応の問題を常に運動障害と共に追及
